

# 近畿地方整備局事業評価監視委員会（平成26年度第2回） 議 事 録（速報版）

1. 日 時 平成26年10月 2日（木） 10:00～12:00
2. 場 所 近畿地方整備局 第一別館 大会議室
3. 出席者

- 委 員 小林 潔司 委員長  
江崎 保男 委員、駒林 良則 委員、正司 健一 委員、  
寶 馨 委員、竹林 幹雄 委員、田中 等 委員、  
中村 智彦 委員、
- 近畿地方整備局  
近畿地方整備局長、副局長、副局長、総務部長、企画部長、  
河川部長、道路部長、営繕部長、用地部長、建政部長、  
港湾空港部長

## 4. 議 事

- (1) 開 会
- (2) 事業評価監視委員会審議

[再評価]

神戸港ポートアイランド（第2期）地区  
国際海上コンテナターミナル整備事業  
舞鶴港前島地区複合一貫輸送ターミナル（改良）事業

円山川直轄河川改修事業  
加古川直轄河川改修事業  
揖保川直轄河川改修事業  
大和川直轄河川改修事業  
九頭竜川直轄河川改修事業  
北川直轄河川改修事業

一般国道1号栗東水口道路Ⅰ  
一般国道9号京都西立体交差  
一般国道24号紀北西道路  
一般国道24号大和北道路  
一般国道163清滝生駒道路

## 5. 審議結果

[再評価]

・ 神戸港ポートアイランド（第2期）地区

国際海上コンテナターミナル整備事業

審議の結果、「神戸港ポートアイランド（第2期）地区国際海上コンテナターミナル整備事業」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針（原案）のとおり「事業継続」でよいと判断される。

• 舞鶴港前島地区複合一貫輸送ターミナル（改良）事業

審議の結果、「舞鶴港前島地区複合一貫輸送ターミナル（改良）事業」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針（原案）のとおり「事業継続」でよいと判断される。

• 円山川直轄河川改修事業

審議の結果、「円山川直轄河川改修事業」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針（原案）のとおり「事業継続」でよいと判断される。

• 加古川直轄河川改修事業

審議の結果、「加古川直轄河川改修事業」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針（原案）のとおり「事業継続」でよいと判断される。

• 揖保川直轄河川改修事業

審議の結果、「揖保川直轄河川改修事業」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針（原案）のとおり「事業継続」でよいと判断される。

• 大和川直轄河川改修事業

審議の結果、「大和川直轄河川改修事業」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針（原案）のとおり「事業継続」でよいと判断される。

• 九頭竜川直轄河川改修事業

審議の結果、「九頭竜川直轄河川改修事業」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針（原案）のとおり「事業継続」でよいと判断される。

• 北川直轄河川改修事業

審議の結果、「北川直轄河川改修事業」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針（原案）のとおり「事業継続」でよいと判断される。

• 一般国道1号栗東水口道路Ⅰ

審議の結果、「一般国道1号栗東水口道路Ⅰ」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針（原案）のとおり「事業継続」でよいと判断される。

• 一般国道9号京都西立体交差

審議の結果、「一般国道9号京都西立体交差」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針（原案）のとおり「事業継続」でよいと判断される。

• 一般国道24号紀北西道路

審議の結果、「一般国道24号紀北西道路」の再評価は、当委員会に提

出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針（原案）のとおり「事業継続」でよいと判断される。

• 一般国道24号大和北道路

審議の結果、「一般国道24号大和北道路」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針（原案）のとおり「事業継続」でよいと判断される。

• 一般国道163号清滝生駒道路

審議の結果、「一般国道163号清滝生駒道路」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針（原案）のとおり「事業継続」でよいと判断される。

以 上